

学校評議員運用に関する報告書(3学期)

月 日	意見を求めた事項	評議員氏名 (敬称略)	意見の概要	処 理
3月18日	①令和3年度学校 評価について(報 告)	川口 嘉子	地域とのつながりについて、今年度はコロナ禍で授業時数確保等の関係で難しかったと思う。理想としては地域とつながってほしい。	学校評価の目標に対する自己評価と次年度に向けての項目を説明し、理解を得た。 地域連携や学力保障などをしっかりと課題として向き合い、次年度につなげていきたい。
		橋本 雅延	中学校は進路があり、学習進度をコロナ禍で維持するのにとても忙しかったと思う。	
		井本 和代	子どもたちの自発性を出させる大変さがよくわかる。学校の存在は勉強だけではないので、とても重要だと思う。	
	②今年度の中学校の様子について	井本 和代	適応指導教室について教えてください。	コロナの中の学校運営について、特に意見や質問は出なかった。
	橋本 雅延	子どもたちの居場所づくりをしています。したいことをさせて、折を見て勉強してみようかと声掛けをしたりしています。		
	③その他 ・リモート学習について	川口 嘉子	リモート学習について教育の平等性が重視されるべきだと思う。家庭でつなげられる子は家でつなぎ、無い場合は学校に来てつなげばよいのでは。	リモート学習については、教育の平等をふまえた上で、できる範囲で始めて行けばよいのではな

・校則について	橋本 雅延	100%を待っていては、いつまでたってもできないので、家にwi-fi がない子は学校に来てすればよいのではないか。	いかという意見を頂いた。
	橋本 雅延	思春期の特性で、いろいろと髪形やファッションなどに興味がある時期なので、よく考えさせれば良い。	校則については、特に気になる内容はないとのことで、生徒たち自身がよく考えていけばよいという意見だった。
・教職員の言動について	井本 和代	先生たちは待っていて、子どもらの活動を見守り一緒に考えていければいいと思う。	
	川口 嘉子	先生方の言動で気になることはない。	教職員の言動について、気になることはないという意見を頂いたが、そういう声もあるのだなどということも納得されていた。
感想	井本 和代	今年は特に感じないが、昨年度PTA 会長をしていた時は、体育大会の時の叱り方についてPTA で話題になった。	
	川口 嘉子	評議員になり普段見ないホームページなどを見た。丁寧でわかりやすいと思った。こういう場が久しぶりで有意義でした。	学校評議員としていろいろな意見を頂いて参考になった。参加してよかったと言っていただけでよかった。
	井本 和代	小学校の時に比べて学校に来ることが減ったけど、意見交換する場で色々考えさせてもらえて参加してよかった。	職員へは学校評議員会議の内容を周知し、本文書を回覧し、今後の学校運営に活かしていく。
	橋本 雅延	コロナ禍で色々で見直しをしてみたことを逆手にとらえ、一度学校行事や運営の仕方をリセットして考え直す時期に来ているのかもしれないと感じました。	

1. 評議員氏名欄には意見を求めた評議員の氏名、または会議の場合は会議と記入する。
2. 意見の概要の欄には、会議の場合、最初に(評議員名)を記入し、その後に意見の概要を記入する。
3. 処理欄には、意見を求めた後の処理(職員会議へ報告、文書で職員へ周知等)を記入する。